

女性が働きやすい職場と身近な政治

工場見学・議員講演・グループワークを通じて

With幹事 松本英恵（JAM北関東）

With北関東では、4月24日に恒例となっている「女性役員研修会」を実施した。昨年度は国会見学を行ったが、今年度は幹事から「もっと身近な政治や、女性が働く職場を視察したい」と意見があり、コマツユニオン経由で「㈱小松製作所小山工場」を訪問した。当日は、幹事を含め15単組・19人が参加した。コマツグリーンと呼ばれる広大な敷地内に保育施設の「コマツキッズ」がある。そこでは、組合員の声を受け、4歳児以上の子どもは幼稚園の送迎バスを利用でき、保育施設に通いながら幼稚園にも通えるハイブリッドなシステムになっていた。空きがあれば妊娠中から入所予約もできると聞き、安心して子どもを産み、働き続けられる環境の大切さを実感した。

女性採用比率が設立から14年間で約2倍となり、14%を超えたことも納得できた。

工場では、中大型エンジンラインを見学し、U字型の大きなコンベアの上で複数のエンジンが組み立てられる様子や、作業ミス・歩行距離を減らす工夫等を紹介いただいた。

午後は、JAM議員団会議の福田ちえ宇都宮市議会議員から、政策や経験談の講演を受けた。中でも「困った時は“助けて”と声をあげて」「もっと政治に怒っていいのよ」「ひとりで頑張らないでね」などの温かい言葉が印象的だった。

グループワークでは「休暇について」話し合い、最後に各班からの発表で締め括った。

初対面同士でも時間が足りないほど盛況のうちに終了することができた。グループワークの内容については、後日改めてWithで前向きな議論を進めていきたい。

一つひとつは小さな活動でも、積み重ねていくことで、参加者にとって一つでも得るものがあるよう、これからも微力ながら活動を前進させていく。

